

令和8年（2026年）4月1日の保育所等待機児童の状況は次のとおりです。

1. 待機児童数：10人

(1) 待機児童の状況

前年度と比較すると、共働き世帯の増加等に伴い申込者数が増加しています。

一方で、施設整備等により「保育所等利用定員」の増加を図ったことで、「初日在籍児童数」が増加し、「認可保育所等に申し込みをしたが入所できなかった児童数」は減少しています。

(単位：人)

区分	令和6年 4月	令和7年 4月	令和8年 4月	増減 R8年-R7年
0歳から5歳の人口	19,410	18,727	18,026	▲701
保育所等利用定員 ※1	8,870	9,205	9,577	372
申込者数	9,562	9,725	9,938	213
初日在籍児童数 ※2	8,890	9,144	9,435	291
認可保育所等に申し込みをしたが入所できなかった児童数 (A)	672	581	503	▲78
育休関係 (B)	247	297	290	▲7
求職活動（自宅での活動）(C)	37	19	23	4
特定保育所等のみの申込者など (D) ※3	360	246	180	▲66
待機児童数 (E) = (A) - [(B) + (C) + (D)]	28	19	10	▲9

※1 2号3号の保育所等の利用定員・家庭保育所・庄内一時保育事業・北部一時保育事業含む

※2 4月の入所決定者・庄内一時保育事業・北部一時保育事業を含む

※3 特定の保育所等しか申し込んでない方、きょうだいで同じ保育所等への申し込みを希望している方、自宅近く(2kmの範囲内)に利用可能で空きがある保育施設があるにも関わらず利用を希望されない方、企業主導型保育事業を利用している方 など

(2) 年齢別の待機児童の状況

国基準（こども家庭庁「保育所等利用待機児童数調査要領」）に基づく保育所等待機児童数は、下記(E)のとおりとなっています。

申し込みをしたが入所できなかった503人の年齢別内訳は、下記(A)のとおり、1歳児が最も多く、3歳未満児が全体の約90%を占めています。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
(A)	93人	248人	108人	43人	5人	6人	503人
	18.5%	49.3%	21.5%	8.5%	1.0%	1.2%	100%
(E)	0人	7人	3人	0人	0人	0人	10人
	0%	70%	30%	0%	0%	0%	100%

2. 今後の対策

待機児童発生に加え、地域ごとの人口動態や保育ニーズの増加をふまえ、以下の保育定員確保策を引き続き推進します。

- ① 幼稚園から認定こども園への移行促進
- ② 既存の保育所・認定こども園等の受け入れ枠拡充（3号保育定員拡充助成金等）の継続
- ③ 保育所・認定こども園等の新增設（継続費の活用）